

造の目的とは (1/3) :序

:

明:

人の 史における最も 解な に しての序 と、その答えを つけ出すことの出来る源泉についての 。第
部: 答えの源泉。

目: [事イスラ ムの信条人生の目的](#)

より: Dr. Bilal Philips

日 04 Jan 2010

集日 16 Jul 2023

序



造の目的とは、あらゆる人 が一度は を ませるテ マです。 もが人生のとある 点で、“なぜ私は存在するのか?”、または“私がこの地球に存在する目的とは何なのか?” という疑 を持つことでしょう。

人、そしてこの世界を 成している多彩で 解なシステムは、それらを 造した至高者の存在を暗示します。 には 者が伴うものです。私たちは海岸で砂の上に残された足 を つけ

ると、そこを少し前に かが いたのだろうということを直感的に 付けます。それが海からの波によって、人 の足 そっくりな みが偶然形成されたものであるなどは も予 しません。このことと同 、人は本能的に、何の目的もない存在として られたと 付けたりは しません。はっきりとした目的のある行 こそが人 の知 による自然な 物であるため、人は至高かつ 智に ちた存在が特定の目的のために自分たちを 造したのでであると 付けるのです。 って人 は人生の意 を理解し、最 的に有益な行 を起こすために、自分たちが存在する目的というものを知らなければならないのです。

しかしながら、神の存在を否定した人々というのは 史を通して存在して来ました。彼らにとっては事象というものは永 であり、人 は なる偶然出来た元素の み合わせにより生じたものである、という 解なのです。その 果、彼らにとって“なぜ神は人 を ったか”という には何の答えも 出せません。彼らは存在の目的など いとします。しかし 史を振り返れば、 倒的多数の人々はこの世界をある目的と共に 造した至高者の存在を信じ て来ましたし、今なお信じ けています。彼らにとって 造主と人 の存在理由を知ることが重要なことだったのであり、依然として重要なことなのです。

答え

“なぜ神は人 を 造したのか？”という に答えるためには、まず最初にどの 点からそれが われているのかを めなければなりません。神による 解であれば、“神が人 を 造した原因は何か？”という意味になるでしょうが、人 による 解であれば、“神が人 を 造したのはどのような目的によるものか？”という意味になるでしょう。双方の 点は、“なぜ私は存在するのか？”という 味深い の 面を表 します。この二つの を、示による明瞭な描写に基づいて していきましょう。これは人 の推 といったようなテ マではありません。なぜなら人 による当て推量は、こういった に して完全な真 を き出すことが出来ないからです。自らの 、そしてより高度な存在である精神の きに する理解が完全でない 状において、いかにして人 は自らの 在に する知的な推 が出来るでしょうか？それ故、この をこれまで思案してきた多くの哲学者たちは 数の答えを き出して来ましたが、それら全ては 明することの出来ない、 の域を出ませんでした。このテ マに する は多数

の哲学者によって、私たちは には存在しておらず、全世界は幻想に ぎないという主 まで生み出しました。例えば古代ギリシャの哲学者プラトン（ 元前427年 - 元前347年）は、人が知 によって知り得る可 性の日常は真の 在ではなく、その に投影されるうわべの 象に ぎないとしています。また前述したように、その他の多くの者たちは人 の 造には全く目的が存在しないと主 し けます。彼らによると、人 の存在は偶然の物に ぎないのです。もし、 生の物 がただ に全くの偶然から有生に 化したのであれば、生命の目的はないということになります。人 の 戚であると言われる猿は存在についてむことはありません。それではなぜ人 はそれに して むべきなのでしょう？

大半の人々は、私たちが 造されたのはなぜかと、 折しばらく考え んだ に の隅に追いや ってしまうますが、人 としてその答えを知ることは めて重要なのです。正しい答えの 知 がなければ、人 はその周りにいる 物と区 が付かなくなります。 食や生殖などの 物的欲求が人 の存在する目的となれば、人 の努力はこれらの限られた 域に集中します。物的な 足が人生において最も重要な目的に 展してしまえば、人 の存在は最も下等な 物のそれよりも墮落します。人 に自らの存在目的という知 が欠けていれば、神に与えられた知性を常に 用することになります。墮落した人 の精神は、その能力を麻 や爆 などの 造に使用し、 通、ポルノ、同性 、占い、自 などに 中させるのです。生命の目的に する知 が ければ人 の存在はあらゆる意味を失い、常に なものとなり、来世における永久の至福という は完全に消失されるのです。それ故、“なぜ私たちはここにいるのか？” という に人 が正しく答えることは、 めて重要な なのです。

人 は常々、他の人 から答えを求めるものです。しかしこれらの に し唯一、明瞭で的 な 答えを得ることの出来るものは、神により 示された 典からのみなのです。神が人 に し、 言者を介して 示を下したのは、人 が自分たちだけの力では正しい答えに辿り着くことが不可能であるからなのです。神の 言者たちは皆、“なぜ神は人 を 造したのか？” という に答えています。

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/194>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。